



学 校 だ よ り

令和7年3月24日(月) 臨時号

千 葉 市 立 千 草 台 東 小 学 校

本年度も、学校教育目標「自ら学び心豊かにたくましく生きる東の子の育成～笑顔いっぱいの学校をめざして～」の実現に向けて、子供たちが安全・安心に学校生活を送りながら、元気いっぱいに力を伸ばしていけるよう、教育活動を行ってまいりました。学校生活アンケートの実施にあたり、ご協力をいただきありがとうございました。各項目4点満点で平均値を下表にまとめ昨年度と比較しましたので、お知らせいたします。

(4 とてもそう思う 3 だいたいそう思う 2 あまりそう思わない 1 ほとんどそう思わない)

令和6年度 児童・教職員アンケート集計結果

【昨年度→今年度】 ◎…昨年度より上がったポイント ◇…昨年度より下がったポイント □…特に低いポイント

No	調査内容	児童	教職員 (主語：子供たちは)	No	調査内容	児童	教職員 (主語：子供たちは)
Q1	学校が好きですか。	◎3. 3点 →3. 5点	◎3. 3点 →3. 5点	Q8	友だちにやさしくしていますか。	3. 6点 →3. 6点	◎3. 0点 →3. 2点
Q2	クラスみんなと なかよく生活していますか。	3. 6点 →3. 6点	◎3. 2点 →3. 4点	Q9	しっかりそうじをしていますか。	◎3. 5点 →3. 6点	2. 9点 → 2. 9点
★ Q3	なにか体力づくり をしていますか。	◎3. 1点 → 3. 2点	◎2. 4点 → 2. 6点	Q10	先生の話聞いていますか。	3. 6点 →3. 6点	◎2. 8点 → 2. 9点
Q4	学校の勉強は わかりますか。 (授業の工夫)	3. 4点 →3. 4点	◎3. 1点 →3. 2点	Q11	家で、進んで学習 をしていますか。	3. 1点 → 3. 1点	◎2. 4点 → 2. 6点
★ Q5	授業中、自分の 考えを表現していますか。	◎3. 0点 → 3. 2点	◇3. 1点 →3. 0点	Q12	先生はあなたのが んばりをみとめてく れますか。(適切に 評価)	◎3. 3点 →3. 5点	◎3. 1点 →3. 4点
★ Q6	自分からあいさつ をしていますか。	◎3. 4点 →3. 5点	◎2. 1点 →3. 1点	Q13	先生はあなたの話を よく聞いてくれま すか。(一人一人 を理解して対応)	3. 6点 →3. 6点	◎3. 1点 →3. 4点
Q7	みんなで使うもの を大切にしていますか。	◇3. 8点 →3. 7点	◎2. 9点 →3. 2点				

令和6年度 保護者アンケート集計結果

【昨年度→今年度】 ◎…昨年度より上がったポイント ◇…昨年度より下がったポイント □…特に低いポイント

No	調査内容	平均値	No	調査内容	平均値
Q1	楽しく学校に通っていますか。	◎3.3点 →3.6点	Q8	友達にやさしく接していますか。	3.4点 →3.4点
Q2	クラスの友だちと仲良く学校生活を送っていると思いますか。	◎3.2点 →3.5点	Q9	身の回りの整理整頓をしていますか。	◇2.5点 → 2.3点
★ Q3	たくましく体力づくりに取り組んでいますか。	◎2.7点 → 3.0点	Q10	学校での勉強や生活の様子を家庭でよく話しますか。	◎3.0点 →3.1点
Q4	授業を理解していると思いますか。	◎3.0点 →3.2点	Q11	家庭学習に進んで取り組んでいますか。	◎2.7点 → 2.8点
★ Q5	授業中、積極的に自分の考えを表現していると思いますか。	◎2.7点 → 2.9点	Q12	家庭や地域で思いやりのある言葉遣いや行動をしていますか。	3.1点 →3.1点
★ Q6	しっかり挨拶することができますか。	◎3.0点 →3.2点	Q13	交通安全や不審者への対応など、安全に気をつけて生活していますか。	3.2点 →3.2点
Q7	みんなで使うものを大切にしていますか。	◎3.3点 →3.3点			

児童の集計結果においては今年度も全項目3ポイント以上となっており、3.5ポイントを超えている項目が多く、前向きに頑張っており取り組んでいることがわかります。その中でも「体力づくり」「自分の考えの表現」「家庭学習」においてはポイントが低く、できていないと感じている児童が多いようです。この3項目は保護者の評価もポイントの低い項目でした。

「★Q3 体力づくり」については、今年度は校舎等の工事が無く、体育館やグラウンドが全面使用できたことから、評価は上昇し、のびのびと体を動かしている姿が多く見られました。しかし、休み時間に外に出る児童と教室にいる児童の二極化が見られます。教室に残っている児童も巻き込んで、休み時間にも体を動かす機会をつくる、体育の学習で様々な運動を経験させる等、楽しさを味わいながら児童が進んで体を動かすような活動内容を工夫し計画的に進めていきます。「★Q5 表現する力」については、授業の中で友達とかかわりながら自分の考えを表現できる場を増やしていきます。ICTを利用した考えのまとめ方や表現・共有を有効に活用しながら、話し合い活動や文章で表現する機会も意図的に取り入れ、個々の「表現する力」の向上を目指します。

教職員の評価においては「体力づくり」「家庭学習」「清掃」「話を聞く」項目が、児童よりも低いポイントとなり、もっと向上させたいと思っていることがわかります。自ら考えて、学習したことを身に付け、自分のすべきことをしっかりと行えることも重要です。児童が落ち着いて学校生活を送り、主体的に活動していけるよう、教育課程を工夫して取り組んでまいります。

「★Q6 あいさつ」の項目については、昨年度より大きくポイントが上昇し、児童への声掛けや今年度の取組に手ごたえを感じています。他項目の評価が上昇したのも、児童が人と関わりながら明るく一生懸命に学校生活を送っている姿の表れであり、「あいさつ」はその根幹を担っていると考えます。今年度は、学校全体のあいさつへの意識が高まってきました。次年度も、児童があいさつの大切さを実感できるような指導を続けます。

その他ポイントの低かった「整理整頓」や「家庭学習」に対しても、家庭と協力しながら、児童一人一人の意識を変えていけるような指導や取組をさらに進めていきます。自由記述の欄にも、家庭・地域・学校の連携等についてご意見をいただきました。今回いただいたご意見やアンケートの結果を真摯に受け止め、教育課程を工夫していくとともに、児童一人一人を大切に、笑顔いっぱいの学校づくりに邁進してまいります。